

報道発表資料の配付日時 10月14日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	高校生向け物流施設体験会を開催します！ ～ 海と陸の物流現場で物流の重要性を体験 ～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	北海道運輸局、一般社団法人札幌地区トラック協会及び北海道と共催により 10月24日(金) に石狩湾新港及び石狩湾新港地域各施設において、高校生を対象に物流施設体験会を開催します。 この物流施設体験会では、無人で稼働する「フォークリフト」など自動化された倉庫内の保管や荷役の仕組みを見学するとともに、<u>海と陸をつなぐ巨大なクレーンでコンテナ貨物を積み下ろしする現場</u>を見学することにより、<u>物流の「今」を体験</u>してもらいます。また、講義では物流事業者等を招いて<u>物流現場における「生」の声を伺</u>います。 体験会を通じて、<u>物流産業の重要性を理解し、物流業界への関心を高めてもらうこと</u>を目的としております。 (1) 日 時 令和7年10月24日(金) 9時00分～15時00分 (2) 場 所 物流施設体験会：石狩湾新港及び石狩湾新港地域各施設 ・石狩湾新港花畔埠頭 ・東洋水産(株)石狩新港物流センター ・(株)エース石狩第七物流センター 講義：北海道札幌国際情報高等学校 (3) 参加者 北海道札幌国際情報高等学校 グローバルビジネス科 1年生 120名 (4) 概 要 学生を30名ごとに、午前施設見学コース(計2班)、午後施設見学コース(計2班)に分け、合計4コースで施設を見学します。 【共催】北海道運輸局、(一社)札幌地区トラック協会、北海道 【協力】北海商科大学、石狩開発(株)、石狩湾新港管理組合、東洋水産(株)、(株)エース(順不同)		
参 考	行程及び見学施設の詳細は別紙を参照		

報道(取材)に当たってのお願い	取材・撮影を希望される場合は、 <u>別添取材申込書</u> によりご連絡をお願いします。 申込締切り：10月21日(火) 12:00まで		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所) 北海道運輸局	

担 当 (連絡先)	総合政策部 交通政策局 交通企画課 物流企画担当課長 松田 雅宏(内線：23-822) ダイヤルイン 011-204-5796		
--------------	---	--	--

施設見学

時 間	場 所
9 : 3 0 ~ 1 0 : 4 0	東洋水産(株) 石狩新港物流センター (小樽市銭函5丁目61-9)
1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0	(株)エース 石狩第七物流センター (石狩市新港南2丁目718-1)
1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 2 0	石狩湾新港 花畔埠頭 (国際コンテナ輸送基地)

※上記時間は、第1～4班のうち第2班の行程になりますので、こちらにご同行いただけますようお願いいたします。

講 義

※北海道札幌国際情報高校にて開催

時 間	講 師	テーマ
9 : 1 0 ～ 9 : 4 0	(株)杉本運輸 代表取締役 杉本 憲昭 氏	「物流のやりがいと未来」
9 : 5 0 ～ 1 0 : 2 0	丸吉ロジ(株) 代表取締役 吉谷 隆昭 氏	「オンリーワンの鉄の物流 会社を目指して！～強みの 見つけ方と生かし方～」
1 3 : 5 0 ～ 1 4 : 1 0	北海道総合政策部交通政策局 交通企画課 物流企画担当課長 松田 雅宏 氏	「身近な物流課題と私たち にできること」
1 4 : 2 0 ～ 1 5 : 0 0	富良野通運(株) 代表取締役 永吉 大介 氏	「海へ騎りゆく人々～国際 物流の現場から～」

見学施設



石狩湾新港 花畔埠頭（国際コンテナ輸送基地）

荷役作業車
（リーチスタッカー）ガントリークレーンによるコンテナ荷役作業
（写真提供：石狩湾新港管理組合）

ガントリークレーンやリーファーコンテナ用コンセントなどが整備され、冷凍冷蔵貨物にも対応できる。道内最大級のセメントサイロがあり、セメント輸送に対応。

“海から陸へ”、“陸から海へ”巨大なガントリークレーンでコンテナ貨物を積み下ろしする壮大な物流を体感。世界規模で物が運ばれ、自分たちの生活に密着していることを学ぶ。



東洋水産（株） 石狩新港物流センター（小樽市銭函5丁目61-9）



石狩新港物流センター



移動ラック

水産加工をはじめ「マルちゃん」ブランドで知られる総合食品メーカー

一昨年に建築された**北海道最大級の大型冷蔵倉庫**を見学
無人で稼働する移動ラック、**-25度の冷蔵倉庫**を体感

（写真提供：東洋水産（株））



（株） エース 石狩第七物流センター（石狩市新港南2丁目718-1）



無人フォークリフト



石狩第七物流センター

商品の運送や保管業務だけでなく、調達から在庫管理まで包括的な物流業務を展開する総合物流企業。

無人フォークリフトや電動パレットラックなどによる
「今」そして「未来」の物流自動化を体感。

（写真提供：（株）エース）

北海道運輸局交通政策部 環境・物流課 担当あて

(締切 10月21日(火) 12:00)

申込先メール:hkt-kanbutsu-sa1tsu@gxb.mlit.go.jp

【お問合せ先】 011-290-2726

取材申込書

■取材箇所（取材希望箇所の□にチェックをお願いします。）

《10月24日(金)》

【施設体験】

☐ 石狩湾新港花畔埠頭

☐ 東洋水産（株）石狩新港物流センター

☐ （株）エース 石狩第七物流センター

【講義】

☐ 物流に関する講義 （取材希望講座： ）

■会社名及び部署名、所在地

■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

②

■車両情報 ※石狩湾新港花畔埠頭の取材を希望する方のみ記入願います。

・台数： 台

・ナンバー： ・車名：

：

：

■連絡先（代表者の連絡先）

—

—

■テレビカメラ持ち込みの有無

（該当するものに○をつけてください）

有 ・ 無

※集合場所、集合時間は申し込んだ後にこちらからご連絡いたします。

※ご記入いただきました個人情報につきましては、本件に関する事項以外では使用いたしません。